



教育センター・育成センター所報

2007 年 2 月号



ノコンギク

GALILEI

新しい教育 柏崎からの発信

インターネット版は
柏崎市教育情報支援シス
テムを検索し、トップ画面の
右上「GALILEI」をクリック
してください。

柏崎市立教育センター
柏崎市青少年育成センター

2月号 CONTENTS



- 今月の巻頭言 「日本の子どもは如何に 否！その前に大人は如何に」
教育センター運営委員 滝澤富士男 1
- 写真速報「柏崎の教育を語る会・どうする？キャリア教育」 2
- 教育センターたより
 - アクセス（教育研究班・情報教育） 4
柏崎の教育を語る会・前回語る会の行動・試験運用コンテンツサーバー・教材登録ほか
 - プロジェクト K（科学技術教育班） 8
事業報告(理科指導法, 冬の星空観察会)・長峰大池の冬鳥
 - 心の窓（教育相談班） 10
我が校の教育相談(楨原小)・理解を深める・特別支援・2月の予定
 - プラネット（視聴覚ライブラリー） 12
教材データベース新目録・大型プリンタの利用・おすすめ教材ほか
- 青少年育成センター通信 14
2月の予定・青少年健全育成大集会・講演アンケート・12,1月の育成活動
- センター点描 19
なるほど！ビデオ編集・教育センター運営委員会
- 所員随想「つれづれ」 20
「本当にあった怖い話」 科学技術教育班研究員 植木 厚夫
「そなた達に贈る<冬のソナタ>」 教育相談班ふれあいルーム指導員 大島 美和
- 新聞記事の紹介
 - 青少年健全育成大集会 22
 - 柏崎の教育を語る会 26
- 教育センター2月の予定 29
- 1月の教育センター利用状況



○ 団塊の世代の退職を迎えて、どの組織でも人材の育成や確保が課題になっています。先日、泉田県知事の「人財」流失の報道がされました。県が投入した教育費が都会に貢がれ毎年1千億円もの流出になるので、もっと若者が県内に進学、就職できる環境整備を進めるとしています。柏崎でも同じことが言えるのではないのでしょうか。

○ 地元の小中学校で教育を受けた子どもが長岡など市外の高校にどんどん進学しています。また、地元の高校で学んだ若者が都会の大学に進学してそのまま都会の企業に就職し、柏崎に戻る者が大変少ないのが現実です。こうしてみると地元の教育費が都会の

若葉抄

ために使われるという見方もできます。地元には魅力ある高校や大学、さらには若者はじめ市民が元気よく働けることができる企業の存在が望まれるところです。

○ 先般、「柏崎の教育を語る会」が当センターで開かれ、どうする？キャリア教育をテーマに話し合われました。柏崎の市勢発展に人材の育成と確保が重要であるという話が出されましたが、その努力を行政・教育・産業の各面で惜しんではならないと思います。ましてや、財政状況が苦しい中であっても、どうせ流出する人材だからというのではなく、長期的・広域的展望に立ってさらに教育に投資をしてほしいと願います。(種)

今月の巻頭言

日本の子どもは如何に 否！その前に大人は如何に



教育センター運営委員 滝澤富士男
(第二中学校長)

今の子どもたちの現状は大変なことになっています。何か抜本的な手立てをしなければと、心ある人は思っているでしょう。また実際に子どもを現場で教育している者は危機感を抱いています。

世界一安全な国といわれた日本。世界がうらやむ日本人の道德観。この日本人のよさの崩壊、危機的な状況について、その理由を様々な方々が持論を展開しています。どの論も、なるほどと納得できます。

最近の動向として、憲法改正や国民投票、そして教育改革、はたまた刑法の14歳から13歳の年齢引き下げなどの論議が毎日報道されています。そして、ベストセラーになった本の主たる主張が、今の日本に必要なことは武士道精神であり、国家の品格であるといえます。と同時に、悲惨な事件や今まではありえなかった企業の不祥事などの報道も後を絶ちません。

戦後の日本人が目指したアメリカナイズ、それは、自由な経済活動・市場原理・金銭至上主義。そして、自由・平等の考え方。その結果が、勝ち組・負け組、ニートの増加、義務なくて権利ありの主張、日本古来の伝統の喪失、生老病死の遠ざかり。

学校教育の現場にいる者として強く思うことは、家庭の崩壊とまでは言わなくても、「教育力の低下」と「家・家族という意識の喪失」があり、その再生。

今こそ、子どもより大人に「ゆとりと生きる力」の機会と指導が必要ではないかと思えます。

「たとえ世界の終末が明日であろうと、私は今日、リンゴの木を植える。」

(コンスタンチン・ゲオルギウの言葉)



教育センターの役割としては重いかもしれませんが。
しかし、地道に明日を信じてやらなくては。

なぜ？ **キャリア教育** どうする？

2007 年1月 27 日 柏崎市立教育センター

第6回を迎えた今年の「柏崎の教育を語る会」は、暖冬無雪の1月27日(土)に教育センターを会場に開催されました。テーマは「どうする？キャリア教育」で、産業界若手の柏崎 JC (青年会議所) の皆さん、小中学校など教職員の皆さん、そして、雇用問題や産業振興の労をとっている関係行政の皆さんなど約 80 人の参加がありました。児童生徒の勤労観・職業観を育成するために、三者が問題点を出し合って今後どのようにキャリア教育を進めていったらよいか、本音を出し合った活発な協議が行われました。



村井友明指導主事

これまでの進路指導は進学・就職に向けた出口指導であったが、キャリア教育は職業観、勤労観をはぐくむ生き方指導である。



三富昌明 JC 子ども育成会
副委員長

職場体験の受け入れを考えていない企業が6割あるが、何を学びたいか目的が明確でないというのが大きな理由である。



熱心に耳を傾ける
全体発表会

1 開会セレモニー

挨拶: 矢島柏崎 JC 理事長, 種岡教育センター所長

2 話題提供

柏崎のキャリア教育の取組 村井市教委指導主事

企業アンケート調査結果 三富子ども育成会副委員長

3 グループディスカッション (8グループ)

4 全体会・グループ協議発表

5 閉会セレモニー

挨拶: 涌井市教委学校教育課長



矢島博生
柏崎青年会
議所理事長



- 自己理解や夢の実現がキャリア教育の基本であるが、人材流出の防止や雇用対策としてもキャリア教育の充実を望む。
- 夢はいくら大きくてもよいが、職業選択の現実はかなり狭いことを知ってもらう。
- 家庭における子どものお手伝いこそキャリア教育の出発点になる。
- 福祉事務所で汗をかいて奉仕活動を行い、「ありがとう」と言われた満足感を得るような体験こそ重要なのではないかな。
- 先生方が生産企業の現場を知らなすぎるのではないかな。
- 子どもが親の仕事や会社のことを知らないようでは困る。
- 大工左官、製造業など職人気質の強い職場では、5 回も受け入れるのは難しい。
- 何をしてくるのか目的をはっきりさせることが先ず大切だ。
- 学校側が求めていることと企業でできることの摺り合わせの場を設定してほしい。



涌井昭夫学校教育課長

キャリア教育のベースとして必要なことは、自分の責任で生きていく力 (挨拶返事、礼儀、後片付けなど) が最も大切である。



- 職場体験企業マップ (電子版) は大変ありがたい。事業所データの中に、受け入れ時期、人数、仕事内容、企業の説明などを入れるとありがたい。
- 柏崎では受け皿のレパートリーが少なく、子どもの体験に対する動機が弱くなってしまふ。
- 体験だけでなく、社長の熱気ある講話が大変印象に残ったという子どももいる。

No.67	平成 19 年 2 月 10 日 発行	柏崎市立教育センター	945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31 TEL:0257-23-4591 FAX:0257-23-4610
-------	---------------------	------------	--

第 6 回 柏崎の教育を語る会「キャリア教育をどうする？」

1 月 2 7 日より第 6 回柏崎の教育を語る会を実施しました。8 0 名の参加を得て、盛会に終えることができました。

今年度のテーマは、「キャリア教育をどうする？」

キャリアスタートウィークの実施など、キャリア教育の充実には学校と地域との連携がますます重要になってきます。学校、企業、行政がキャリア教育について本音で語り、現状の課題を明らかにし、これからの方向性を考えていくことをねらいとしました。それぞれの立場から貴重な意見が出され、グループディスカッションの時間が足りないほどでした。

土曜日の午後にもかかわらずご参加いただきました皆様方に、厚くお礼申し上げます。



■グループディスカッション■

- 様々な企業や職種を知るよいきっかけである。
- 職場体験だけでなく、学校への講師派遣や子供向けのイベントを通して子どもたちに働くことの重要性を伝えていけないか。
- ありがとうと感謝される体験は自分の存在感を高めるためにとてもよい。
- 会社員の子どもと自営業の子どもにより認識に違いがある。
- 製造業では怪我が起きては困るため、受け入れがたい。
- 送り出す先生方ももっと職場を知ってほしい。
- 職場に行く前の事前指導をしっかりとしてほしい。
- 受け入れ企業データベースを作成してはどうか。
- 工科大や産大などに体験施設があるとよいのではないか。
- 一つの商品が作られて売られる過程を体験できるようなカリキュラムを作成してはどうか。
- キャリア教育＝職場体験と考えているイメージが受け入れ側に強い。
- あいさつや手伝いなど家庭と協力しながら、キャリア教育の素地を身に付けさせたい。
- 職場体験はとても意味のある活動であるが、実施可能時期などが企業によって異なり難しい面もある。
- キャリア教育を全市を挙げて推進するための、学校・行政・企業が一体となった話し合いの場がこれからも必要である。

報告！ 第5回柏崎の教育を語る会

昨年度の第5回柏崎の教育を語る会では、「子どもたちの安全を守るために、われわれにできることは？」をテーマに、具体的なアイデアを話し合いました。そして1年間で下記のようなことが実現されました。

語る会にご参加いただいた皆様、そしてすばやく安心・安全に取り組んでくださいました皆様に感謝申し上げます。これからも、「語る」から「行動」へ、柏崎を愛する子どもたちを育てるために私たち大人が取り組んでいきましょう。

- 柏崎市第4次総合計画における「防犯まちづくりの推進」
- 柏崎 JC による比角地区あいさつ運動の実施
- 老人クラブなどによる組織的な「ながらパトロール」の実施
- スクールガードが中学校区に入り、防犯・安全に対するアドバイスをしたり、下校時の安全パトロールなどを実施
- FM ピッカラによる「いかのおすし」の PR
- 市民活動支援課による4月～5月の下校指導
- 小中学校における「CAP」プログラムの実施
- 教職員のための「CAP」プログラム・不審者対策研修の実施
- 育成会によるスタンプ
- 子ども110番の家の追加登録
- 全小中学校で安全マップを作成・見直し
- 看板・車ステッカーの増加
- 広報かしわざき 6/5 号の特集「子どもの安全」
- 広報かしわざきによる見守り放送の実施
- 科学の祭典において、防犯・安全メール登録サービスの実施(年2回)
- 市シルバー人材センターのアンテナショップ「シルバーふれあいサロン・やまゆり」で防犯・安全メール登録サービスの実施
- 育成委員による下校育成の実施
- 全小中学校にインターフォン設置
- 複数人による下校の実施



試験運用はじまる 教育用ネットワーク・コンテンツサーバー



ブラウザを起動して、右のように直接アドレス欄に入力して Enter キーを入力してください。(教務室系と PC 教室系からアクセスできます)

柏崎市教育情報支援システムの教材データベースに登録したいけれど、ファイル容量が多すぎるとか、個人情報保護の関係からアップロードに抵抗があるといったデータを教育用ネットワークのイントラ上で活用することができるコンテンツサーバーの試験運用を始めました。

視聴覚ライブラリーに眠っていた自作ビデオ教材などをデジタルデータ、小学校社会の副読本「わたしたちの柏崎」のデジタル版などを公開しています。



登録日	教材名	種類	説明
H19.01.19	視聴覚教材目録 _全て_.pdf	PDF	平成18年度までの視聴覚ライブラリー教材目録（全て）。
H19.01.19	視聴覚教材目録 _ビデオ_.pdf	PDF	平成18年度までの視聴覚ライブラリー教材目録（ビデオ教材のみ）。管理番号順。
H19.01.19	視聴覚教材目録 _ビデオ_新着順.pdf	PDF	平成18年度までの視聴覚ライブラリー教材目録（ビデオ教材のみ）。新着順。
H19.01.19	視聴覚教材目録 _16ミリ_.pdf	PDF	平成18年度までの視聴覚ライブラリー教材目録（16ミリ教材のみ）。管理番号順。
H19.01.19	視聴覚教材目録 _16ミリ_新着順.pdf	PDF	平成18年度までの視聴覚ライブラリー教材目録（16ミリ教材のみ）。新着順。
H19.01.19	視聴覚教材目録 _DVD_.pdf	PDF	平成18年度までの視聴覚ライブラリー教材目録（DVD教材のみ）。管理番号順。
H19.01.19	視聴覚教材目録 _DVD_新着順.pdf	PDF	平成18年度までの視聴覚ライブラリー教材目録（DVD教材のみ）。新着順。

視聴覚ライブラリーの教材目録については、予算等の都合もあり平成13年度以降作成されておりましたが、多くの利用者からお問い合わせをいただいていた。

今回、支援システムの「視聴覚教材データベース」の情報も新しいものに置き換えました。その他に、教材目録をデジタルデータ(PDF ファイル)として用意し、教材データベースに登録させていただきました。

PDF ファイルにはしおりもつけてありますので、すばやく特定の「分類」や「購入年度」のページへの移動が可能です。また、PDF では文字による検索も可能 (Adobe Reader の標準機能) ですので、特定のキーワードを指定しての教材検索も行うことができます。

「編集」→「検索」
キーワードを指定して
PDF 文書内の検索
ができます。

しおり
クリックするとその
ページが表示されま
す。

NO	管理番号	種別	題名	対象	時間	年度	備考
		ビデオ	英国王室の伝統を守る絵巻 ムービング・ポスター 中学生用 ④	45	H8		
785	VO1-009	社会教育	イギリスの伝統文化の継承 英国王室は700年の文化を継承している。この王冠や王冠に磨きをかけてきたガラス・ストーンと呼ばれる王冠は現在も王室の重要な宝の一つであり、王冠の下に密着した宝石や装飾品・ポスター・カラー、その華やかさを伝えている。				
786	VO1-010	ビデオ	進化の道はたまたま 一食の物語と進化の道 ②	15	H9		
		理科動画	人々の生活と進化の道はたまたま 一食の物語と進化の道 ②				
787	VO1-011	ビデオ	生物と進化 一食の物語と進化の道 ③	15	H9		
		理科動画	人々の生活と進化の道はたまたま 一食の物語と進化の道 ③				
788	VO1-012	ビデオ	生物と進化の道 ④ (制作資料)	15	H9		
		理科動画	人々の生活と進化の道はたまたま 一食の物語と進化の道 ④				
789	VO1-013	ビデオ	生物と進化の道 ⑤ (制作資料)	15	H10		
		理科動画	人々の生活と進化の道はたまたま 一食の物語と進化の道 ⑤				
790	VO1-014	ビデオ	生物と進化の道 ⑥ (制作資料)	15	H10		
		理科動画	人々の生活と進化の道はたまたま 一食の物語と進化の道 ⑥				
791	VO1-015	ビデオ	生物と進化の道 ⑦ (制作資料)	15	H10		
		理科動画	人々の生活と進化の道はたまたま 一食の物語と進化の道 ⑦				
792	VO1-016	ビデオ	生物と進化の道 ⑧ (制作資料)	15	H10		
		理科動画	人々の生活と進化の道はたまたま 一食の物語と進化の道 ⑧				
793	VO1-017	ビデオ	生物と進化の道 ⑨ (制作資料)	15	H10		
		理科動画	人々の生活と進化の道はたまたま 一食の物語と進化の道 ⑨				
794	VO1-018	ビデオ	生物と進化の道 ⑩ (制作資料)	15	H10		
		理科動画	人々の生活と進化の道はたまたま 一食の物語と進化の道 ⑩				
795	VO1-019	ビデオ	生物と進化の道 ⑪ (制作資料)	15	H10		
		理科動画	人々の生活と進化の道はたまたま 一食の物語と進化の道 ⑪				
796	VO1-020	ビデオ	生物と進化の道 ⑫ (制作資料)	15	H10		
		理科動画	人々の生活と進化の道はたまたま 一食の物語と進化の道 ⑫				
797	VO1-021	ビデオ	生物と進化の道 ⑬ (制作資料)	15	H10		
		理科動画	人々の生活と進化の道はたまたま 一食の物語と進化の道 ⑬				

情報関連研修講座情報

もうすぐ実施される情報関連講座のご案内

◆H19.2.7(水) 大型プリンタによる長尺印刷入門

今年度、長尺印刷用の大型インクジェットプリンタ(EPSON MAXART)を高柳地区向けに高柳中学校、西山地区向けに西山中学校、柏崎地区向けに教育センターに整備しました。横断幕、看板などの大判長尺物の他、WORD 等で作成した文書の拡大印刷も可能です。この研修では、横断幕・看板の印刷やワープロ文書の拡大印刷の手順を実機に触れながら学習します。



研修に参加して、卒業式や入学式の立て看板、横断幕などを作成してみませんか？

セキュリティ情報

セキュリティホール情報

マイクロソフトより、12月13日付けで12月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が下記のように公開されました。まだUpdateが済んでいないようでしたら、至急WindowsUpdateなどを実施していただくようお願いします。

No.	更新の名称	脆弱性等の情報	対象	更新先	深刻度
1	MS07-001 Office の重要な更新	Microsoft Office 2003 のポルトガル語 (ブラジル) の文章校正プログラムの脆弱性により、リモートでコードが実行される (921585)	Office Proofing Tools 2003 をインストールしてある Office2003 (一般的な日本語版の Office2003 環境には、適用する必要はありません。)	Win	重要
2	MS07-002 Excel の重要な更新	Microsoft Excel の脆弱性により、リモートでコードが実行される (927198)	Excel2000,XP(2002),2003	Win	緊急
3	MS07-003 Outlook の重要な更新	Microsoft Outlook の脆弱性により、リモートでコードが実行される (925938)	Outlook2000, XP(2002),2003	Win	緊急
4	MS07-004 Windows の重要な更新	Vector Markup Language の脆弱性により、リモートでコードが実行される (929969)	WindowsXP, 2003Server	Win	緊急

Win は WindowsUpdate, **Office** は OfficeUpdate から更新を実行します。

なお、Office が 2002(XP)以降なら MicrosoftUpdate を利用すると、まとめて実行することができます。

注意 警告 重要 緊急 は右側ほど深刻度が高く、緊急の対応を要します。

【注意】

今回の更新のうち、上記の 2「MS07-002 Excel の重要な更新」を適用すると、Excel2000 において一部のワークシートが開けなくなるという不具合が発生していました。更新プログラムの公開直後にアップデートをかけた方で、Excel2000 の利用者はこの不具合が発生する場合があります(開けなくなったワークシートでも、Excel2002 や 2003 であれば問題なく開けます)。

その後、1/19 にマイクロソフトから上記問題を修正した更新プログラムが提供開始されていますので、上記現象が発生している方は、再度 OfficeUpdate などを実行して更新プログラムを適用しなおしてください。

プロジェクトK (科学技術教育班だより)

理科における指導法（科学的な見方や考え方の育成）

- ◇日 時 1月23日（火）
◇会 場 柏崎市立教育センター 科学実習室
◇内 容 理科の学習を進める際に、何を目標とし、どんな手段で支援するか、小学校・中学校の実践例をもとに検証しました。
例）小学校…流れる水のはたらき 中学校…音
さらに、小・中ともに野外観察を行うことになっている地層観察の際に、問題解決的な学習を進めるための顕微鏡の活用法などを実習しました。

参加者の声

- ・子どもたちに、科学的な見方・考え方をどのようにつけたらよいか、つけるためにどうしたらよいか知りたくて参加しました。事実や実験の結果を、知識として持っているけれど、その説明ができないということが多いのです。今日参加してみて、見方の指導というのが不足しているかなと反省をしました。また、事実を結びつけるために、問題解決の工夫もしなければならぬなと感じました。
- ・子供たちの、「知りたい」「どうして?」「なぜ?」という気持ちを大切に、それらを生かした授業を行っています。今回の研修では、理科の学習を組み立てるフォーマットのようなものを得ることができた気がします。

冬の星空観察会

- ◇日 時 2月2日（金）
◇講 師 松村 昌明 様（柏崎天文同好会 会長）
横村 俊樹 様（柏崎市立博物館）
◇会 場 柏崎市立博物館
◇内 容 冬の夜空の代表的な星座を中心に、プラネタリウム学習を行いました。当日は悪天候であったため、実際の夜空を天体望遠鏡で観察することはできませんでしたが、それでも100名を超える参加者がありました。オリオン座から他の星座を探す方法や、星とは、宇宙とは何かという内容を、楽しく、分かりやすく学ぶことができました。講師の先生からの問いかけに、プラネタリウムの夜空を指差しながら、熱中して答えている子供たちの姿がみられました。



柏崎の冬鳥

柏崎市西山町長嶺の大池にて (H19.1.30 撮影)



カルガモ



オオハクチョウ



マナーを守って観察しよう。
ゴミのポイ捨てはやめてね。
でも、パンくずは大歓迎！



オオバン



マガモ



ホシハジロ



キンクロハジロ

平成19年2月5日

心の窓 (教育相談班だより)

No. 92

柏崎市立教育センター 〒945-0833 柏崎市若葉町2番31号 TEL(代表) 23-4591
(Fax) 23-4610

先生にほめられた

三年 黒瀬健吾

ヒマワリの絵をぬった

かれたヒマワリのくきをぬった

黒とかおう土をまぜた

線ぬりでぬった

次は葉っぱ

先生が

「けんちゃん、早くしいやあ」

と言った

色がうまく作れない

青と黄と黒と赤

いくつもまぜた

「いい色やねえ」

先生がほめてくれた

一まい目の葉っぱがやっとな

だ

チャームだ

ようよう色ができたに

ぼくはその色を

パレットにそうっとのこした

(子どもと読みたい百の児童詩

村上士郎編著)



我が校の教育相談

柏崎市立横原小学校

横原小学校は、柏崎市中心部から北、越後線を背にして建っています。田畑と住宅地に囲まれた静かな環境の中、13学級263名の子どもたちが穏やかに学校生活を送っています。

当校の生徒指導の重点は、「児童一人一人が、めあてに向かって、生き生きと生活できる学級・学校づくりに努める」ことです。高学年をリーダーに縦割りのふれあい班活動を行って異学年間の交流を図り、「気づき、考え、実行する」を合言葉に自主的な行動を勧めています。いじめ防止横原プランでは、学校行事や児童会行事を核に、各自がめあてをもって取り組み、友達のよさを見つける「一人一人が主人公」を実感できる活動を行っています。

当校の教育相談体制について紹介します。

○ 学校生活アンケートを実施(7月・11月・2月)

7月と2月のアンケートは、学校・地域・家庭生活全般に関わるアンケートで、児童一人一人の実態を把握し、それを基に教職員で話し合い、全体で指導すべきことを抑え、教育相談を行って個々に対応しています。11月は、いじめや自殺に関わる報道や社会現象に対応して、当校の実態を見直すために今年度行った調査です。心配なこと・先生に相談したいことを自由記述に加え、子供の悩みを把握することができました。その後教育相談を行い、必要に応じて12月の個別懇談で家庭との連携を図りました。

○ 子供を語る会

長期休業中に2回、気になる児童の様子について教職員全体で情報交換を行っています。また、月に1回心の教育部会で、隔週放課後の職員打ち合わせ時に、児童の様子についての情報交換を行い、共通理解と問題への即時対応に心がけています。

○ 外部機関との連携

市教育センターや医療機関、養護学校に相談して様々な助言をいただき、その後の対応に生かしています。

今のところ、いじめ・不登校は見られませんが、全職員で子供たちを見守り、さらに望ましい人間関係づくりができるように努めたいと考えています。

(文責 大塚淳子)

～カウンセリングルームから～ 「関わりから理解を深めるために」

カウンセリングルーム相談にされる保護者の多くは、学校の先生方から勧められたことが相談の動機となり来所されています。カウンセリングルームでは、まず、保護者の方からお子さんの生育歴や家庭での様子、心配していることなどをお聞きし、必要があれば保護者の希望により幾つかの心理検査を実施すると共に行動観察を行的確な状態の把握に努めています。

学校における教育活動の中で、お子さんに身近に接する先生方が、「指示どおりに動けない」「注意しても反省がなく反抗的な態度を繰り返す」「友達とのトラブルが多い」など、「おや?」「なぜ?」と何かしらの不自然さを感じた場合、子ども自身に発達に関する特性や生活環境における困難さなどの要因が多く見られます。子どもの問題行動は不安や困難さの現れであり、先生方の気づきが子どもへの的確な理解と支援に繋がっていると感じています。

心理検査などにより把握されたお子さんの特性は、保護者へ伝えると共に具体的な対応について話し合っています。「怠け」や「努力が足りない」「反抗的な困った子」という認識の改善や「親の躾の問題」ではないことなどを伝えます。できないところを指摘するあまり圧力を加え、子どもの自尊心を傷つけることの無いよう、関わり方の大事さを感じてもらっています。

また、検査結果について、保護者の了解を得、学校へ伝えさせていただく場合もあります。視覚型や聴覚型など子どもに合った学習スタイルの配慮や集団の中でのルールや対人スキルの習得など子どもの伸びる力を育てていただいています。さらに、お子さん自身には自己理解が必要であり、カウンセリングルームでは、本人の苦手な点と共に「いいところ探し」＝素晴らしい点をより多く理解してもらうよう接しています。

検査結果が有効に活用され、子ども自身が自分の特性を理解し上手に生きていけるよう、関係する大人たちが上手にタッグを組み支援していきたいと考えています。 (文責 本間良子)

～学校訪問相談から～ 「特別支援の必要な児童・生徒及びその保護者への支援」

学校訪問相談の仕事を仰せつかってから、あと少しで3年がたちます。1年目の相談内容は、不登校児童生徒の相談、いじめについての相談、軽度発達障害についての相談、時には新採用教員の悩み等々についての相談が主でした。相談の件数も1年間でおよそ230件でした。

ところが、今年度の4月～12月までの相談内容及び相談件数は次のようになっています。 ①軽度発達障害→50件 ②不登校→36件 ③気になる行動→31件 ④学級不適応→29件 ⑤精神・情緒の失調→15件 ⑥教師の来所相談→13件 その他→47件で合計221件です。

このことから、年々相談内容が多岐にわたるとともに、相談件数も増加傾向にあると言えます。また、単純には比較できませんが児童生徒数が減少しているにもかかわらず、何らかの課題を抱える子ども達が増加傾向にあると推測されます。そのため、各校とも日常的に特別支援を要する児童生徒及びその保護者への対応に苦慮されている姿が垣間見えます。さて、このような問題を解決するための基本的なスタンスは、特別に支援が必要な児童生徒には、一人一人の課題や発達障害等を深く理解しその子に合った支援を続け、周囲との軋轢を含めた本人の苦労を軽減しながら派生的な問題も抑えることが大切です。また、保護者への対応では、例え様々なことを言っても余裕を持って保護者の訴えや願いをじっくり聞くことが肝要です。その上で、このことは可能ですので一緒にやっていきましょう。但しこの点については、〇〇の理由で出来ないとはっきりと伝えます。子どもの欠点や親のしつけの悪さばかり指摘し、信頼関係を損なわないよう留意したいものです。 (文責 中村宏)

※教育相談班2月の予定

＊カウンセリングルーム

- ・ いろいろ体験グループ (Aグループ) 9日 (金) 16:00～17:00 (教育センター)
- ・ いろいろ体験グループ (Cグループ) 9日 (金) 16:30～17:30 (教育センター)
- ・ いろいろ体験グループ (Bグループ) 16日 (金) 16:30～17:30 (教育センター)
- ・ いろいろ体験グループ (中学生) 23日 (金) 18:30～20:00 (教育センター)

＊ふれあいルーム

6日 (火) スキー教室 20日 (火) バス課外活動 26日 (月) 音楽教室 (エールバンド)
28日 (水) 中学3年生通級終了日





URL <http://kedu.kenet.ed.jp/> から教材を検索できます
(ゲストをクリックして「視聴覚教材 DB」を選択)

E-mail kasikari@coral.ocn.ne.jp

柏崎市立教育センター 視聴覚ライブラリー

945-0833 柏崎市若葉町2-31

TEL・FAX 0257-23-1168

2006年 第7号

2007.2.6



視聴覚教材の新しい目録をご覧いただけます

視聴覚ライブラリーでは平成13年度版(平成14・15年は追録のみ)以降、教材目録を作成しておらずライブラリーを利用される方には大変ご不便をおかけしておりますが、このたび平成18年度版教材目録のデータがそろいました。新年度に製本して配布することを現在検討中ですが、お急ぎの方は、柏崎市教育情報支援システムにログイン後、教材データベースに登録(PDF)されていますので、ダウンロードして印刷するなどぜひご利用ください。(VHS・16ミリフィルム・DVD別)

(教材データベースを利用するにはユーザーIDが必要です。IDをお持ちのない方ですぐに目録が欲しい方はライブラリーまでご相談ください。)

機材活用おすすめ～卒業式～

任意の長さ

マックスアートを使って
横断幕や垂れ幕・看板を作ってみませんか？

610ミリ
(縦版の場合、
横幅が610ミリ)

今年度も残すところあと2ヶ月、そろそろ6年生を送る会や卒業式などの準備をする時期です。年度末の多忙な時期だからこそライブラリーのマックスアート(大型プリンタ)をどうぞご利用ください！

横断幕なら縦610ミリ×横(任意の長さ)まで長尺印刷できます。

＊ 学校関係の方のみ使用料金は無料です。

＊ 定期的に混み合いますのでご利用の際は視聴覚ライブラリーまで予約をお願いします。

液晶プロジェクタを使って・・・

・パソコンやビデオデッキと接続し思い出の写真やビデオを上映

(実物投影機、オーバーヘッドタイプのプロジェクタも貸出いたします)

・ビデオカメラと接続して卒業証書授与の時など子どもたちの表情をスクリーンに投影

ただし、プロジェクタと接続機器を離して使用する場合、その距離に応じたケーブル類が必要です。

New 新しい機材を購入しました！！

ワイヤレスアンプ＆マイク TOA-WA1801

リクエストの多かった「ピンマイク」を整備しました。有線マイクも同時に利用できます。

液晶プロジェクタ操作講習会を実施しました

1月31日（水）、今年度2回目の液晶プロジェクタ講習を実施し、12名（内一般4名）の方が受講されました。プロジェクタの基礎知識から、パソコンやビデオデッキなどさまざまな機材との接続手順、投影された画像の調整の仕方を学習しました。

こんなところに注意を！！

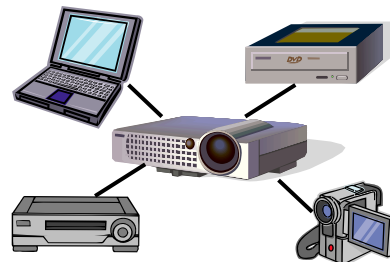
- ・入力信号の切り替え（接続したのに画面が映らない場合）
- ・使用後、すぐに電源コードを抜かない

（光源ランプは非常に熱くなっています。電源を切った後もランプ

の冷却ファンが作動していますので、冷却されるまでコードを抜かないで下さい。）

プロジェクタは授業や発表会での活用はもちろん、卒業式や卒園式・謝恩会などで思い出の記録を投影したり、ビデオカメラを接続したりと様々な場面で利用できます。

視聴覚ライブラリーではプロジェクタやビデオカメラの貸出のほかに、RGB延長ケーブル（10M）も貸出しています。どうぞご利用下さい。



◇今月のおすすめ教材◇

番号のVはVHS・数字のみは16ミリフィルムです

番号	タイトル	分	番号	タイトル	分
◆小学校向け教材◆			◆アニメーション（16ミリフィルム）◆		
V05-039	あたたかい土地の暮らし	15	040-124	かわいいミルクやさん（ディズニー）	9
V05-046	日本とつながりの深い国々シリーズ 第①巻 アメリカ合衆国	15	040-072	キラキラ（やなせたかし原作）	10
V05-047	第③巻 中華人民共和国	15	040-085	三びきのこぶた	9
V02-006	私たちの暮らしを守る山の緑	18	040-115	こびとと靴屋（グリム童話）	10
V02-038	生物とかんきょう	16	040-138	新、泣いた赤おに	20
V01-003	いのちのつながり 人の発生と成長	15	新着教材 New 山古志村のマリと三匹の子犬 （DVD・45分） 2004年の『新潟県中越地震』。全村避難命令が下った山古志村で懸命に生き抜いた犬の親子の感動の実話をアニメ化。命の大切さ、尊さを伝える心温まるアニメーションです。総合的な学習にもご利用ください！！		
V09-111	すてきなおとなになるために	20			
◆中学校向け教材◆					
V09-097	健康な心と体シリーズ たばこ	14			
V09-129	未成年者とアルコール	26			
V15-087	凶器にも変わる携帯電話	20			
V21-009	インターネットの罠	20			

視聴覚ライブラリーの教材検索はこちらからどうぞ！！

◇柏崎市教育情報支援システム

<http://kedu.kenet.ed.jp/>

ご不明な点はライブラリーまでお問い合わせください

*IDをお持ちでない方はゲストでログイン後
視聴覚教材データベースを利用できます。

育成センター通信	0702 号	柏崎市青少年育成センター 〒945-0833 柏崎市若葉町 2 番 31 号 TEL0257-20-7601 FAX0257-23-4610
----------	--------	--

2 月の主な予定

日	曜	内 容	日	曜	内 容
5	月	昼間育成	20	火	夜間育成
5	月	スタントスの練習	23	金	スタントス 比角小学校
16	金	県センター連絡協議会 三条			
16	金	小中高生徒指導連絡協議会			

平成 18 年度
 青少年健全育成大集会 講演会
 子どもとメディア **PartIII**

講演 ノーメディア実践するところ変わる

～ノーメディアデーを実践している地域・していない地域の比較検討～

講師 原 陽一郎さん 19.1.21 市民プラザ 参加者 260 人

モデル校の実践発表

枇杷島小学校 半田小学校 刈羽小学校

鏡が沖中学校 明照保育園

山崎実行委員長 「ノーメディア運動が、全市に広がってほしい」

小林教育長 「ノーテレビ、ノーゲームは、背中に火がついたという意識で取り
組むべきこと」

ビ デ オ 「子どもが危ない」 ～メディア漬けが子どもを蝕む～

講 演 「ノーメディア実践するところ変わる」

次ページ以降に参加者の声を掲載しました。当日の雰囲気を感じとりください。

「ノーメディア」講演 直後の感想から 19.1.21 市民プラザ

- ・お話を聞いて子どものために行うことが大切と思いました。
- ・話を聞いてハッとさせられることがたくさんあり怖くなりました。ノーメディアを少しずつ実践しようと思いました。
- ・情報社会が子どもに大きな影響を与えると感じました。
- ・高校生に触れることが多いので大変参考になりました。
- ・各小中高等学校のPTA 広報関係に必ず出席してもらい、啓発のたよりを出すなど、大胆な行動に出ないとノーメディア活動の拡大は困難だと思います。
- ・ありがとうございました。改めて勉強になりました。
- ・もう少しメディアの害が普及し各機関・地域で取り組めるようになるまで続けていただきたい。
- ・今回、保育園の実践があったことがとてもよかったです。園でこの取り組みが広がるとよいです。
- ・市全体で取り組んでほしい。赤ちゃん学級でもPRしたらどうですか。親がルールを決めるべきです。
- ・メディア漬けの恐怖を広く保護者・地域に伝える必要があると感じました。
- ・端的明瞭な講演で分かりやすかったです。できることから取り組んでいきたいです。
- ・行政から後押ししてもらい市全体で実施できるとよいです。
- ・メディアが子どもによいこととは言えない根拠が明確に分かったので参加してよかった。
- ・興味が持てる内容でした。大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・どうやって我が家で実践していこうかと考えていました。まず自分がアウトメディアへ。
- ・講演を聞いて、子どもが横を向いて食べる原因が分かりました。ありがとうございました。
- ・メディアの弊害が分かりましたが、我が家で実践できるかな。PTA で取り組むと言われたらどうしようかと悩みます。
- ・一気に変えることができなくても、少しずつメディア漬けから抜け出せるように実践してみたいです。
- ・今回初めて聞きました。多くの方から聞いてもらいたい。もっと働きかけてほしかった。
- ・講演はとても分かりやすく聞きやすかった。質疑応答の時間がほしかった。若い人に聞いてほしかった。
- ・私は保育士です。講演は時宜を得たもので大変勉強になりました。来年もぜひ参加したいです。
- ・子どもの現状・危機が具体的によく分かりました。
- ・学校の実践発表は、もっと時間をかけてほしかった。
- ・たくさんの保護者に聞いてほしい。ずっと継続してほしい。
- ・自分自身のためにまず始めてみたいと思いました。
- ・全地域・子どもがいる全戸に伝わるまで続けてください。
- ・若い人にはメディアの害が分からない人が多いので、保育園・幼稚園から実践してもらいたい。
- ・公立の保育士です。ノーメディアの運動を福祉・保育係・子ども課等行政にも働きかけてほしい。各施設長に伝えてほしい。
- ・子育ての信念があれば実践できると思いました。充実した時間ありがとうございました。
- ・食事の時にはテレビを消すよう努めたいです。職場・学校PTA 活動で話したいと思いました。
- ・今日知りえたことをよく生かして、これからもがんばりたいと思いました。

- ・子ども自身がこの話を聞く機会をつくってほしい。単 P では講演のお願いができないので・・・。
- ・自分の家だけで実践してもだめだと思います。早く柏崎市、日本全体に広まればいいと思います。
- ・もっと多くの保護者・学校関係者・教育機関関係者に知っていただきたい。子ども自身にも働きかけることも必要だと痛感しました。
- ・ノーメディアで日を決めるよりも、時間を減らすことが重要だと考えます。
- ・メディアを見せないよい面はよく分かりました。見慣れないメディアを見せ続けた場合はどうなるのか不安もあります。
- ・一度、ノーメディアを考えてみてもよいのではなかろうか。
- ・講演を聞いて、とても恐ろしくなりました。私も大人として自信を持って実践しようと決めました。テレビの前に貼るポスターを子どもと一緒に作ろうと思います。
- ・三年連続でこの講演会に参加しました。自分にできることは何かを考えて実践したいと思いました。
- ・原先生の講演会がとてもよかった。もっと話を聞きたかった。また、柏崎に来てください。
- ・少しずつ。実践していきたいと思います。これから父や母になる若者に知ってほしい内容でした。
- ・ノーメディアは目的でなくて手段だと思います。家族全員が協力して運動を続けてほしいと思いました。
- ・乳児期の大切さをもっと訴えてほしい。メディア自体がこの問題をもっと取り上げてほしい。
- ・ありがとうございました。改めて勉強になりなした。まずやってみます。
- ・PTA の役職の人だけでなく、一般からももっと気軽に参加できるようにしてほしい。
- ・三年連続の講演でしたが原先生のお話は引きつけるものがありました。
- ・子どもがすでに中高校生。もっと早くこのような話を聞きたかった。今からでは少し遅い気がするが、少しでもテレビを消す時間を増やしたいと思う。
- ・ノーメディアを全市あげて取り組んで行くようこの運動を継続してほしいです。
- ・多くの人に話をして運動の輪を広げていくことが大切だと思いました。継続すること。
- ・メディアとのかかわりを変えていこうと思いました。
- ・多くの団体が取り組んでいることや講師の実践に基づいた力強く思いのこもったお話に、かくあるべしと感動しました。
- ・全市一丸になって柏崎の子どもの健全育成に取り組むことはほんとうにすばらしい。保育園、幼稚園もぜひ入れてください。小さいときこそ大切だと思います。
- ・もっと早い時期に聞けたらよかった。もっと多くの方に聞いてほしい。特に、結婚前の若い人に。
- ・全市あげて呼びかけないといけない問題だと思います。
- ・メディアの及ぼす影響力、怖さを感じ恐ろしくなりました。
- ・多くの人に知ってもらいたい。来年も続けてほしい。小中高まで挑戦してほしい。
- ・刈羽小学校の吉田さんのように、ほんとうに実践している人の話を聞きたい。市をあげて取り組むよう行政への働きかけもしてほしい。
- ・自分一人で来た。夫と来るべきだった。PTA としても取り組みたい。保育園、保育士としても考えさせられた。がんばろう「母として子のために」
- ・大会宣言が単なる宣言に終わらないように。今後は、相互に語り合える参加型の大集会に。
- ・原先生の講演はよかった。質疑応答があればもっとよかった。

- ・メディアコントロールの重要性が分かった。こうした内容はまだまだ周囲に広がりがないと思う。だから多くの人にこのことの大切さが広まるような機会を拡充していくとよいと感じた。
- ・うちの子どもは中学生です。もっと早く知りたかった。遅いかもしれませんが、食事のときはテレビを消すようにします。
- ・大変参考になった大集会です。ありがとうございました。
- ・来年は、今年の大会を受けて実践発表や経過報告があるといいと思いました。
- ・週一回、ノーテレビ、ノーゲーム、食事の時はテレビを消すことを実践したいと思います。
- ・原先生の話がたいへんよかったです。



山崎会長



講演会



モデル校実践発表



原 陽一郎 さん



市 P 連正副会長の大会宣言

12 月、1 月の育成活動から

- 駅裏の大型店の書店では、高校生の参考書近くに陳列してあった成人雑誌が撤去してあった。育成センターから書店に働きかけた成果であろう。
- 駅裏のカラオケ店には、日曜日には生徒が友達と一緒に入店しているとのことである。
- 駅のトイレには高校生が入って喫煙するらしく、タバコの吸殻が落ちていることがあると、清掃する人が言っていた。
- パチンコ店に育成活動のため入ったが、会話も聞き取れない大音響に驚いた。
- 昨年改築したゲーム店 2 階にビールの自動販売機が設置されていた。ここの責任者談「中学生と思われる生徒が喫煙していたので注意したがやめなかった。しばらくして、1 階のレストランでその生徒が父親と二人で食事しながら喫煙していたので、父親に注意したが、『子どもの自由である』と主張するばかりで、中学生の喫煙をやめさせなかった。親の再教育が必要である。」
- 終業式のためか市内はひっそりとしていた。平和に感じた育成活動でした。
- 駅裏の書店には、いつもはベンチに高校生数人が腰をかけているのだが、今日は見当たらず、立ち読みをしている高校生もいなかった。責任者に冬休み中のトラブルについて聞いてみたが、特に問題が無かったとのことである。
- 駅裏のカラオケ店には、高校生のグループが 2 組、大人のグループ 1 組いた。責任者の話では、最近、トラブルが少ない、とのことである。
- 駅裏の漫画喫茶店には、高校生等学生の姿がなかった。責任者の話では高校生のトラブルの発生がない、とのことであった。
- 柏崎駅の待合室や改札口に、電車待ちの高校生が 10 名近くいたが、特に問題になるような行為はみられなかった。
- 駅通り大型店の書店、100 円ショップ、ゲームコーナーに高校生や児童生徒の姿は全くなかった。全般に今日から学校が始まったわけだが、天候がよくないことと、まだ、正月気分のためか、早々に帰宅したのかと思った。
- 地区育成活動をした。今年は小雪のため特に危険個所もなく、小学生は保護者や集落の人と一緒に子ども会の活動を楽しんでいた。



📺なるほど！ビデオ編集 デジタルビデオ編集入門講座



学校で撮影した行事などのビデオをそのまま保管しているところが多いようですが、これを編集してタイトルや音楽などを入れると、大変楽しい優れた記録保存となります。当センターでは「デジタルビデオ編集入門」の研修講座を12月26・27の両日に実施しました。学校やコミセンなどで編集の必要性が多いためか、市民6人を含む27人もの大勢の参加があったために、2日間に分けて実施したものです。講師は田村 実情報教育主事で、岡村美保ライブラリー嘱託員が補助に当たりました。

一人一人が Windows XP 付属のムービーメーカーというソフトを使い、サンプルビデオから映像を分割してビデオクリップを作り、それをストーリーボードに貼り付けていきます。それからタイトルを挿入したりバックグラウンドミュージックを入れたりして、一本の作品に作り上げるわけです。パソコンには慣れていてもビデオ編集は初めてという人が多く、はじめは思い通りに画像が張り付かなくて苦労していましたが、操作のポイントをつかむとどんどん作業が進み、最後には一人一人のオリジナルのビデオを作り上げていました。基本的な操作は一度やってみると案外簡単にできるので、皆さんもぜひ挑戦してみてください。次年度もこの講座を予定しています。

皆様の声をお聞きます

教育センター運営委員会

教育センターでは、事業内容や運営のあり方についてご意見をお聞きするために、毎年運営委員会を開催しています。これは教育センターの管理運営規則により運営委員会の設置と開催が義務付けられているものです。学識経験者、社会教育関係、社会福祉関係、幼児教育関係、市 P 連などの代表をはじめ、郡市小中学校長会、郡市学校教育研究会などの代表合わせて14名で構成されています。

今年度は2月6日に教育センターで開催しました。教育研究班、教育相談班など各班の代表から事業報告や事業の総括と展望が報告され、事業運営に対する貴重なご意見をいただきました。主に、理科離れの問題、教職員研修と学校研との連携、いじめに関わる教育相談、相談体制の連携などについて、各委員の立場から積極的なご意見をいただきました。運営委員会でいただいたご意見と、先般郡市全教職員の皆様からご協力いただいたアンケート調査の要望などを元に、次年度の事業計画を策定していきます。



本当にあった怖い話

～登山編～

科学技術教育班
研究員 植木 厚夫



高校1年生の夏の出来事。当時私の通っていた高校は毎年2泊3日の登山があった。私はN県の、ある山のコースを選択し、大型バスに乗り込んで山裾に向かった。その1日目のことである。足慣らし程度の距離を登り、万年雪の大雪渓が広がる裾野にたどり着き、山小屋で1泊することになった。

その晩、消灯時間を過ぎた後、先生方が酒盛りをしているのを確認し、同級生の恋の悩みを聞くために、こっそりと山小屋を抜け出し、大雪渓を少し登ることにした。山小屋から200m程登ったところの大岩の上に座り、学校のこと、将来のこと、好きな人のことなど、話を始めた。草いきれの残る夏山の空気に、雪の匂いが混ざる。雲の切れ間には星が瞬き、じれったいような気持ちで友人の話を聞いていた時のことである。

眼下にぼんやり明るく見える山小屋の周囲に、明かりがついた。

「しまった。抜け出したのがばれたのか!？」

先生が懐中電灯を手を持って歩いているかのように見える。引率の先生はとても怖い先生だった。瞬時に、頭の中でどうやって山小屋に戻ろうかと考えて頭の中が真っ白になった。

しかし、その直後、懐中電灯の明かりが赤い色に変わった。「あれっ」目をこらして見ていると、手に持って移動しているはずの光は、くるくると円を描いて崖の上空へと移動していくではないか。その上、光の色も、次第に青白い色にかわりつつ、はじけるように大きくふくらみ、フッと消えた。

「.....」

隣には、あごがはずれたような顔をしている友人がいる。互いに、無言で顔を見合わせ「見間違いじゃない」と確信する。妙に後ろが気になる。ものすごく周りの空気が冷たい。意を決して、仲間のいる山小屋へと走った。見えない何かから逃げようと、必死に岩から岩へ飛び移った。「忍者になれるかも？」と、ちょっと考えたほどだった(注 当時高校1年生)。

山小屋へついて、交互に日なたの匂いとカビの匂いのする毛布をかぶった時にようやく震えているのに気づいた。同じ部屋の仲間に今見たことを打ち明けると、1人が非常用のソルトクラッカーの表面の塩をかき集めて、私たちに投げつけてきた。そいつは真剣な表情で「お清め」とか言っている。

眠れない夜を明かした。翌朝、朝食の場所に向かうと、山小屋の主人と先生方が何か話しているように、皆聞き耳を立てている。「.....すぐそこの大岩に.....スキーで激突して.....結局亡くなってしまった人がいて.....」冷たい汗が背中を伝わるのを感じた。2日目の登山コースは、大雪渓を登っていく。昨晚、座っていた大岩に花が供えてあるように見えた。

あれは一体何だったんだろう? リンの発火? プラズマ? それとも.....え~い、そんなはずはない。花だって何かの偶然だ。私は理科の教師として、科学の目であの現象を解釈していきたい。だって怖いんだもん...



また逢えたね・・・

そなた達に贈る 「冬のソナタ」

教育相談班

ふれあいルーム指導員 大島美和

皆さんは、あの韓流ドラマの名作「冬のソナタ」をご覧になりましたか？

当事ブームになった頃は、4様、4様って、一体何様のつもり！？…なんて、私はペ・ヨンジュンに群がるオバさまたちを、白い眼で見ていたりしたものでした。

ところが昨年、ネットの無料配信で第一話を何気に見始めたら…これが見事にはまってしまった！遅ればせながら、我が家は真夏に「冬ソナ」ブーム到来。しばらくは、続きが気になって気になって・・・毎夜のごとく、息子を早く寝かしつけては、夫と二人で夢中になって観たのでした。(注：ハンカチは必需品です！)

冬ソナは、ドラマとしての完成度もさることながら、やはり世のマダム達を惹きつけるだけのことはある4様改めヨン様の迫真の演技&魅力は絶品ですし、女優チェ・ジウ演じる女性の可憐さ、芯の強さ、彼女の流す涙（一話につき、10粒以上は出てきますよ～）には、同じ女性としてもうっとりするような気品と美しさがあります。また、二人を囲む俳優陣もそれぞれ個性派、実力派揃いでいい。(とりわけ私は個人的にキム次長という役の俳優さんが大好きです) また、ドラマは選曲も命ですが、これまたどの曲を聴いてもすぐに口ずさめるような憶えやすいフレーズになっていて・・・画像もシチュエーションも音楽も、どこか懐かしさを感じさせる安定感があると思います。

さて、ここまではドラマの構成というようなことを中心にお伝えしてまいりましたが、後半はいよいよ核心の部分に触れたいと思います。とはいっても、未だ観ていない方の楽しみを奪うのも何ですから、ドラマ内の私が選んだ好きな台詞ベスト5をお送りします。

(これも充分楽しみを奪っている・・・ことになるのかな。はは・・・すみません)

第5位 この目がチュンサンの顔を覚えている。この心がチュンサンの言ったことを覚えているの。

第4位 「この世で一番素晴らしい家ってどんな家だと思う？」

「好きな人の心が一番素敵な家だと思います。」

第3位 僕はあなたが好きだけど、あなたが思っている人は僕じゃないでしょ？だったらユジンさんがしたいこと、望むことを助けてあげるのが、僕にできることだと思うんです。

第2位 私、あなたにごめんなさいなんて言わない。あなたは私から一番大事なものを持っていったから。私の心を持っていったから・・・愛しています。

第1位 今まですぐそばで息をしていた人が突然消えてしまうのが、どんなものか知っていますか？何ひとつ変わっていないのに、その人だけいない感じがどんなものかその淋しさがわかりますか？それで涙を流すのがそんなに間違っていますか？

また冬が来たね。

まっすぐでひたむきな、この愛のストーリーで

どうかあなたの心をあたためてください・・・

(う～ん、きまった！！)

注：上記の書き込みには、一部筆者の激しい思い込みや感情も入っていますのでご注意下さい(笑)

「ノーメディア」必要性確認 青少年健全育成の集会で

「子どもとメディア」をテーマにした青少年健全育成大集会（市青少年健全育成市民会議、市小中学校PTA連合会、柏崎地区高等学校PTA連合会、柏崎刈羽地区保護司会主催）が二

十一日、市民プラザで開かれ、約三百六十人が「ノーメディア」運動の必要性を確認し合った。席上、青少年の健全育成を目指す、集会宣言を決議した。

とシステムが急速に発達・普及し、わが国も本格的なネット社会に突入する中で、心身の発達過程にある子どもへの影響が懸念されることから、メディアとの関係をいかにしてつくるか



「子どもとメディア」をテーマに講演などが行われた青少年健全育成大集会

なびを考える機会とした。冒頭、山崎高美・実行委員長は「子どもたちを健全な大人に育てるのは、私たち大人の責任。集会を機に、ノーメディア運動が市内の乳幼児を含む児童生徒に広がってほしい」とし、来賓の小林・市教育長らも

「ノーメディア・ノーゲーム」運動は時宜にかなった、背中が火がついたという意識で取り組むべきことと述べた。

最初に、昨年十一月から「ノーテレビ・ノーゲーム」運動に取り組んだモデル校の鏡が沖中、枇杷島小、半田小、刈羽小、以前から取り組む明照保育園の実践成果が発表された。アンケート結果では「意外と楽しく過ごせて、会話が増えた」「必要のない時間はテレビを消すようになった」などの感想があった。

続く講演では、九州大谷短大幼児教育学科講師の原陽一郎さんが「ノーメディア実践するとう変わる」

をテーマに、長時間のメディア接触による問題、ノーメディア運動による心身発達上の効果などを語った。原さんは「寝る前に光刺激が残ることや睡眠の質が悪くなる」などメディア接触の弊害を取り上げ、

「体だけでなく、友だちが少ない、攻撃的になるなど前頭前野に異常をきたす」と指摘。ノーメディア運動で、学習意欲が向上し、暴力性が減少するなどとした。メディア接触時間が短い子どもは自己肯定感が高く、長い子どもは生命観が否定的、希みの共有ができなないなどとも述べた。

また原さんは、漢字が分からない、電話番号が思い

出せないなどメディア漬けの問題を大人にもある身近な例で示した。その上で、「食事時のテレビはすべての問題行動につながる」「三歳まではテレビ・ビデオをつけない」などを強調。子ども向けテレビ番組、インターネット、ケータイの危険性を述べ、

「ノーメディアからアウトメディアへ。メディアを乗り越える文化を掘起すことが大人の責任」と提言。集会宣言では、週一回の「ノーテレビ・ノーゲーム」の設定、地域コミュニティ活動の活性化などを決議し、家庭・地域・学校による青少年健全育成の推進を強く誓った。

子どもは社会の宝であり、青少年は次の時代を担い、新しい社会を創(つく)るかけがえのない人材です。それゆえに、青少年を健全なる人間に育てることは、社会の行く末を左右する極めて重要な大人の役割です。

今、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。とりわけ、近年のメディア環境はかつて予想もなかったほど変貌(へんぼう)して、子どもたちの心や体の発達へ与える影響が懸念されています。また、青少年が関係する犯罪の要因には、メディアとの関係

が極めて深くなっているのが現状です。

抜け出すために

①週一回「ノーテレビ・

本日の講演会では、ノーメディアを実践して

ノーゲームデー」を設定し、実践する

いる地域の子ともたちがどのように変化したかを、実施しない地域との比較検討によって教えて

②「食事の時はテレビを見ない」ことを推奨し、家族の会話と笑顔を増やす

青少年健全育成 大集会の宣言文

いただきました。

③メディアに向き合う

私たちはこの大集会を機に、青少年を健全に育成するため、家庭や地域・学校で次のような取り組みを具体的に実践していきたいと思います。

①「メディア漬け」から抜け出して遊びや仲間

1 メディア漬けから

②「地域コミュニケーション」活動の活性化

づくり、自然体験や文化活動などのいきいきした生活を広げていくために、数多くの「場」をつくる

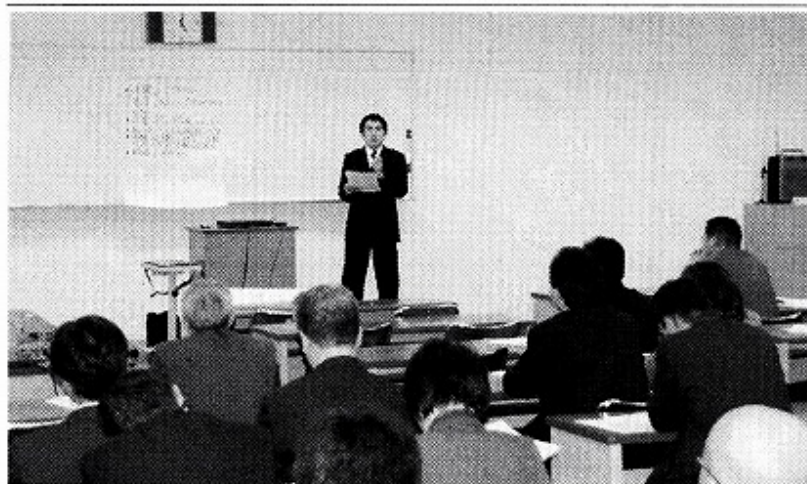
②青少年が多様な大人と出会い、交わり体験ができるように努力する

3 子どもとメディアの「いい関係」をつくり出していくために、子どもたちを取り巻く団体・組織・機関などとネットワークを広げ、協働して実践活動を進め青少年健全育成に努める

以上、全市民一丸となって推進することを宣言する。

キャリア教育推進へ連携

J C と教員ら「語る会」



「キャリア教育」をテーマに J C、教員らによる「語る会」

市内若葉町、市立教育センター（種岡隆夫所長）で二十七日、「キャリア教育」をテーマに、柏崎の教育を語る会が開かれた。同セン

ターと柏崎青年会議所（J C、矢島博生理事長）の主催。約八十人が学校、企業、行政の立場から活発なグループディスカッション

を行い、人材育成の面で連携の大切さを改めて確認した。

語る会は、センター移転を記念するイベントとして始まり、今年で六回目。文科省が中学校を中心に五日間以上の職場体験などを実施するキャリア・スタート・ウィークを進める中

で、語る会では「どうする？ キャリア教育」をテーマに、学校、企業、行政の連携のきっかけづくりを目指した。

最初に、市教育委員会がキャリア教育の目的、現在作成中の資料集などを説明し、「学校だけでは成り立たない教育。職場訪問・体験の理解、関係機関の連携強化を」と述べた。J Cは先に行った企業アンケートの結果からキャリア教育は必要と理解しているものの、実際の受け入れには慎重であることなどを紹介した。

続いて、参加者が八つのグループに分かれ、テーマに沿って、それぞれの立場から意見を出し合った。全体会では各グループが「キャリア教育で企業、職種を知るきっかけに」「体験だけでなく、いろいろな職業を見せたり、製品ができるまでのルートを見学させたりすることも重要ではないか」「企業・地域・家庭の相互理解が一番重要だ」などと発表した。

また、「基盤は家庭。役割分担をきちんとし、マナーやモラルを身につけさせることからキャリア教育が始まる」「児童生徒を送り出す学校、受け入れる企業とのすれを感じる。年に一・二回、職業体験について話し合いを」「職場体験に行く前の事前学習をしてほしい」などの要望も。中には「国の教育政策に頼らず、柏崎市独自の教育プランを」「子どもは地域の宝。人材育成の面で協力を」との声もあった。

柏崎抄

▲「キャリア教育をどうする？」市内若葉町、市立教育センターで先週の土曜、「柏崎の教育を語る会」が開かれた。参加したのは柏崎刈羽の教員と、青年会議所（JC）の会員ら約八十人▲教育を巡る異業種交流として、今年で六回目。職種・立場・年齢を超えた意見は、なかなか興味深い。この日のグループディスカッションにも、参加者の熱が入った。児童生徒を職場体験・見学に送り出す側の学校、受け入れる側の企業。それぞれの思いが伝わる▲「キャリア教育

によって、学校の中の情報交換だけでなく、働く意義、大切さを実感し、目的意識も違ってくる。マナー、礼儀など学ぶべきことがある」とは教員。「いい仕事をしているのがネクタイをしている人ばかりではない。子どもたちからは汗まみれになって働くことを知ってもらいたい」とJC側▲それぞれの意見の根底には、将来の柏崎を託す子供たちへの期待を感じた。「ツアーを組んでいろいろな職場を回って見せるのはどうか」「ユースターに届くまでの製造過程を知ってもらうことも大事だ。子どもが柏崎から出て行くのを防ぐためにもいろんな業種、職種を見せてあげた

い」など前向きな提案が次々と出された▲学校と企業の連携の大切さはもちろん、生活の基盤となる家庭の役割を考えざるを得なかった。JC側からこんな声もあった。「生徒から『職場体験で働くことの大変さを知った。お父さんは大変なのでこれからはいたわろうと思う』などという感想も寄せられている」。参加者の心を和ませるひと言だった▲全国でアルバイトやパートで暮らすフリーターは二百万人、仕事をしていないニートが八十万人といわれる。キャリア教育の果たす役割は大きい。

（田）

柏崎市立教育センター

日 曜	研 修 ・ センター行事・会 議	学 校 訪 問	出 張 ・ その他関係事業
1 木	研・算数・数学研修「教材研究5（教材分析の手法）」15：00～		
2 金	科・冬の星空観察会（会場：博物館）19：00～	第三中学校訪問（中）10：00～ 第一中学校訪問（赤）10：00～	
3 土			
4 日			
5 月	所内会議 13：00～		出・上越地区委員会議（植木）PM
6 火	教育センター運営委員会 10：00～ ふ・ふれあいルームスキー教室	第二中学校訪問（中）10：00～ 鏡が沖中学校訪問（赤）10：00～	
7 水	情・ラ 校務の情報化研修「大型プリンタによる長尺印刷入門」 15：00～ 科・学校教職員理科研究発表会 PM	田尻小学校訪問（中）15：30～	
8 木		東中学校訪問（中）10：00～ 松浜中学校訪問（赤）10：00～	カワレイ2月号発行 ＊努力点説明会（学校教育課）13：00～17：00 多 目
9 金	相・いろいろ体験グループ（小A・Cグループ）16：00、16：30～		柏崎養護学校評議員会（小林）10：00～
10 土			
11 日			
12 月			
13 火			＊心の教室相談員研修（学校教育課）15：00～ 第一研習室（小林）
14 水		第五中学校訪問（中）10：00～ 南中学校訪問（赤）10：00～	いなほの会相談会（小林）19：00～
15 木			
16 金	相・いろいろ体験グループ（小Bグループ）16：30～	北条中学校訪問（中）10：00～ 瑞穂中学校訪問（赤）10：00～	教育委員会表彰（所長）15：00～
17 土			
18 日			同期研修会（植木）～19日
19 月			
20 火	ふ・ふれあいルームバス課外活動	新道小学校訪問（赤）15；30～	虐待防止連絡会研修（小林：元気館）15：00～ ＊柏崎養護教員会 15：00～ 第一研修室
21 水			
22 木		南鱒石小学校訪問（中）15：30 ～ 野田小学校訪問（赤）15：30～	小千谷市学校保健会（小林）14：00～
23 金	相・いろいろ体験グループ（中学生）18：30～	鱒石小学校訪問（中）15：30～	＊学校事務研究部会 15：00～ 第一研修室
24 土			
25 日			
26 月	ふ・ふれあいルーム音楽教室	高浜小学校訪問（赤）15：30～	
27 火		上米山小学校訪問（中）15：30 ～	
28 水	ふ・中3生通級終了日	米山小学校訪問（中）15：30～	＊学校教育研究会情報教育部会 15：30～ 第一研 修室
☆今月の催し★ 2/2 冬の星空観察会（会場：博物館）19:00～		研＝教育研究班 科＝科学技術教育班 ラ＝視聴覚タイプラー 相＝教育相談班 ふ ＝ ふれあいルーム 訪 ＝ 学校訪問 出 ＝ 出張 （中） ＝ 中村学校訪問相談員 （赤） ＝ 赤川学校訪問相談員 ＊ ＝ センター施設貸し出し	

3 月

1	木			☆3月の催し☆ 参加をお待ちしております！！
2	金			
3	土			
4	日			
5	月			

教育センター事業の参加・利用状況(1月)

	研修講座・事業名		1月の 利用数	1月末までの 利用合計数	17年度の 利用合計数
教育 研究 班	専門研修講座		4回	55回	57回
			168人	1806人	1,736人
	学校の要請研修会		0回	5回	14回
			0人	25人	260人
	調査研究員会, 教科研修員会		2回	9回	12回
			5人	32人	52人
	教育情報化研修講座		1回	40回	49回
			15人	522人	566人
	情報教育主事の要請支援等		7回	82回	140回
			62人	776人	1,253人
その他の相談・利用・参加数		3回	36回	54回	
		5人	64人	150人	
教科書センター利用閲覧数		2人	411人	431人	
科学 技術 教育 班	センター研修		1回	12回	26回
			7人	173人	267人
	要請研修		1回	15回	20回
			30人	365人	922人
	地域の自然研修		0回	8回	12回
			0人	480人	694人
	科学振興事業		0人	8306人	6,807人
	科学教育支援		38件	245件	92件
物品貸出		7件	132件	88件	
(教職員研修の合計)		11人	762人		
教育 相談 班	カウンセリングルーム来室相談		新規 22件	182件	175件
			継続 65件	508件	448件
	学校訪問相談		13回	114回	141回
	家庭訪問相談		12回	95回	143回
			4人	30人	37人
	電話相談		5件	34件	46件
	ソーシャルスキルトレーニング		4回	28回	40回
			24人	163人	210人
	ふれあいルーム通級人数		小学生 1人	10人	22人
			中学生 20人	164人	188人
ふれあいルーム通級日数		16日	159日	190日	
同上 学校復帰数(部分復帰を含む)		1人	14人	14人	
視 聴 覚 ラ イ ブ ラ リ ー	16ミリフィルムの貸し出し		14本	117本	190本
	ビデオテープの貸し出し		41本	436本	494本
	視聴覚機材の貸し出し		64台	559台	603台
	編集, 借用, 相談等の来室者		62人	969人	1,393人
	機器操作研修会		5人	25人	69人
	親子映写会・児童クラブ映写会		0人	0人	370人
教育団体, P T A, 市民等の利用			381人	2920人	2,756人
教育センター事業の参加・利用総数			1,069	19,647	20,580

ガリレオ・ガリレイはイタリアの天文学者で近代科学の父と言われ、分析と統合との経験的・実証的方法を用いる近代科学の端緒を開いた人です。

これまで、新しい教育を創り出す私たちにも、ガリレオ・ガリレイのごときたゆまざる検証と気概が必要であるという趣旨から、「がりれお」を発行してきました。この精神を引き継ぎ、平成 17 年度から「GALILEI」という名称で、教育・育成センターの情報を広く皆様に発信しています。



945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31

柏崎市立教育センター

TEL 0257-23-4591
FAX 0257-23-4610

柏崎市青少年育成センター

TEL 0257-20-7601
FAX 0257-23-4610